

あわみなと通信

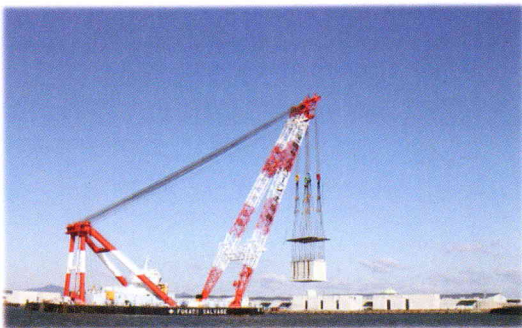
暮らしを支える港湾と空港の話

報告 徳島小松島港 沖洲(外)地区にてケーソン据付開始

徳島小松島港 沖洲(外)地区で整備中の耐震岸壁において、大型起重機船を使用したケーソン据付作業を11月下旬より開始しました。

この事業は、今後の利用企業の生産活動の増加や、モーダルシフトの進展に伴う貨物需要の増大を図るとともに、今後高い確率で発生が予想される東南海・南海地震などの大規模地震発生後の被災地域への緊急物資等の搬入に加え、一定の物流機能を維持し、地域経済への影響を軽減させるため、平成23年から整備実施しているものです。

また、ケーソン据付作業に併せて、地元の沖洲小学校を対象とした見学会を12月1日(土)に実施いたしました。見学会には100名近い方に参加いただき、3,000 tの吊上能力がある起重機船を使用する大変迫力のある施工現場を見学していただきました。



1 函目ケーソン据付作業 (平成24年11月27日)



ケーソン据付見学会 (平成24年12月1日 沖洲小学校)

※起重機船とは……クレーンが付いている船で、海上等で重量物の吊り上げや移動に使用。

(参考) 今回使用する起重機船……クレーン高さ：約120m・吊り上げ能力：約3,000 t

ケーソンとは……フランス語で「大きな箱」という意味。

岸壁や防波堤の一部として使用されるコンクリート製の函(はこ)型のもの。

(参考) 今回使用するケーソン……奥行き：約10m・幅：約20m・高さ：約11m・重量：約1,300 t

INDEX ▶

- みなと報告 1
徳島小松島港 沖洲(外)地区にてケーソン据付開始
- みなとインフォメーション 2
徳島小松島港における防災関係の検討について
- なるほどみなと講座 3
岸壁が出来るまで
- みなと通信 4
みなと見学会の実施について